

市政報告会における 「意見交換会の要旨」

令和6年5月30日	妻北地区	1～3ページ
5月31日	妻南地区	4～7ページ
6月2日	東米良地区	8～13ページ
6月3日	穂北地区	14～18ページ
6月4日	三納地区	19～21ページ
6月6日	都於郡地区	22～27ページ
6月7日	三財地区	28～30ページ

◎妻北地区 5月30日(木) 19:00~20:12 出席者 35名

質問内容(概要)	会場での回答	市の回答
<p>一番関心があるのは医療問題。今は医療センターと医師会の先生たちとの協力体制がなされていない、宿直体制がうまくいっていないと思う。今年の4月から自治医科大学の先生だった方が医療センターに赴任されているが、噂かもしれませんが、前理事長が声を掛けられて来られたと聞いている。市長も長田理事長も医師の確保はされていますか？</p> <p>新病院の建設場所は市庁舎の近くでコンパクトなものが良いと思う。今はタクシーでもバスでも不便なため、遠いところに病院を作ると高齢者は困ると思うので、街中の建設を要望したいと思っている。</p> <p>来年の市長選挙には出られるのですか？西都中学校やこのはな館などいろんな建替えに国や新田原基地の補助金を活用するのは良いが、いつまでも続くとは限らない。ふるさと納税も好不調の波があるので、今後も市長を続けるなら十分考えて市政運営をしてほしい。</p>	<p><市長></p> <p>市内の診療所や一次救急の鶴田・大塚・三財病院と医療センターがうまく連携してやっていきたいと願っている。医療センターは二次救急を主体とした病院である。救急医療には一次・二次・三次があり、三次救急の大学病院や県立病院、市郡医師会病院と一次救急とを繋ぐような病院を作ろうとスタートした。脳外科や心臓関係、外傷性の整形外科など西都児湯地区の二次医療圏に一つしかない医療施設、災害拠点病院として設立したが、この4年間は常勤医師不足で医療の充実が図れなかった。常勤医師の確保が大きな目標なので、今、市も医療センターも大学に一生懸命お願いをしている。もちろん非常勤医師は大学から派遣いただき夜間急病センターは成り立っている。</p> <p>なお、市長を続けるか否かは市民の皆さんが決めることなのでご理解ください。</p> <p><地域医療対策室長></p> <p>医師確保については今後も積極的に医療センターと取り組んでいく。</p>	<p>★地域医療対策室</p> <p>夜間急病センター(18:00~22:00)や宿直の体制については、宮崎大学医学部附属病院やその他の医師の協力のもと、以前とほぼ変わらない対応は出来ているとの報告は受けております。さらなる運営安定に向けて医師会との協力体制に取り組んでまいります。</p> <p>新病院建設の候補地については、以前、基本構想を策定した際に開催された市民懇話会の中で意見として出された候補地を中心に抽出し、現在、庁内で検討しております。今後、今年度策定予定の基本計画の中で、各候補地の概算の建設費や課題等を検討し、最終的な建設予定地を決定してまいります。</p> <p>★総合政策課</p> <p>ふるさと納税制度は、基幹産業が一次産業の地方の自治体が、地元産の農畜産物を寄附者に対する“返礼品”として提供できることから、制度そのものが魅力ある市場となっております。</p> <p>今後も返礼品提供事業者等と連携しながら、受入額の安定化が図られるよう、ふるさと納税推進事業に精励してまいります。</p>
<p>☆2回目☆</p> <p>医師確保をするなら西都地区の先生たちと仲良くして、間を取り持ってもらって人脈を作ったほうが良いのではないかと？</p>	<p><市長></p> <p>それも一つの方法だと思う。同時に大学にもお願いして大学から医師派遣していただくなど、いろんな方法をとっていきたい。</p> <p>自治医科大学の先生が来られたのは、今の理事長が</p>	<p>★地域医療対策室</p> <p>新しく着任された自治医科大卒の先生については、長田理事長および副院長の働きかけに応じ、また、医師不足に悩むこの地域に貢献したいとのご自身の想いで着任されたとのこと。</p>

	<p>一生懸命取り組まれた結果であることは間違いない。</p>	
<p>耳鼻科と婦人科がないことは今に始まったことではないが、車を運転できない高齢者等も多いので、通院も大変なので、早急に招へいしていただきたい。</p> <p>また、婦人科に関して、宮崎市、国富町と綾町には細胞診とHPVウイルス検査に対して5,000円の補助がある。西都市には補助がないので、64歳以降も（検査が？）終了できず、毎年、毎年通院しないとイケない。先ほど市長が言われた、ふるさと納税を活用して来年度から補助をやれないか要望したい。</p> <p>数年前に市が防災ラジオを配布されているが、もう使えないのではないか？ また、災害時にどのような方法で防災情報が得られるのか？</p> <p>災害時に具体的にどこに避難すればいいのか？ LINE というが、携帯電話を上手に使えない高齢者の方のためにも、災害やそれ以外でも親切に対応していただきたい。</p>	<p><市長></p> <p>耳鼻科と婦人科は早急に誘致しないとイケないと考えており、様々な方法を検討している。そのため市の補助金1,000万円も用意している。</p> <p>HPVに関しては担当課長（健康管理課）が来ていないので詳細は分からないが、早急に調査して検討してまいりたい。</p> <p><危機管理課長></p> <p>令和8年度に新しい受信方式の防災無線に変更になるため、現在、市民に配布している防災ラジオはラジオとしては使えるが、防災無線が受信できなくなる。これに伴い、今年1月15日に全世帯に文書を配布し、市としては市公式LINEや防災メールの登録推進を図るとともに、携帯電話受信困難地域の方や避難行動要支援者、区長、公民館長、民生委員のうち希望される方には新たな受信方式に対応した戸別受信機設置の希望調査を行った。今後、条件を満たしている希望者に戸別受信機を配布（貸付）し、防災情報を発信していきたい。</p> <p>避難所については、令和元年度に妻や穂北など地区ごとの防災情報が記載されている防災マップを配布している。そのマップには、台風の時の避難所や危険箇所、地震の時の避難所などが示されているので、ご自身で避難所や避難ルートのご確認をお願いしたい。</p>	<p>★地域医療対策室</p> <p>今年度から「西都市医療機関開設等支援事業補助金交付要綱」を施行し、市内に不足する診療科を新規開設・承継することに対する補助事業を開始しております。まだ実績はありませんが、今後、宮崎大学医学部を中心に招聘を実施してまいります。</p> <p>★健康管理課</p> <p>本市では細胞診による子宮頸がん検診を実施しており、費用の大部分を本市が負担することで、1,000円程度の自己負担で受診できます。</p> <p>HPV検査については、「細胞診との併用」の方法で県内9市のうち2市が実施しておりますが、「細胞診との併用」よりも国による推奨度が高い「HPV検査単独法」による検査実施について、県内自治体や実施医療機関の対応状況を確認しながら検討してまいります。</p> <p>★危機管理課</p> <p>防災無線の更新工事に伴って、現在配付（貸与）している防災ラジオについては、ラジオとしては使用できますが、令和7年度中に防災情報等が順次受信できなくなります。</p> <p>市としましては防災無線放送と同内容の情報を市公式LINEや防災メールで発信いたしますので、それらの登録推進を図ると共に、携帯電話受信困</p>

		<p>難地域、避難行動要支援者、区長、公民館長及び民生委員のうち希望される方には新たな受信方式に対応した戸別受信機を設置する予定です。</p> <p>避難所については、地区毎の防災マップを参照していただき、居住地付近の危険箇所、避難所及び避難ルートの確認をお願いいたします。</p>
<p>新病院の候補地は何カ所か上がっているのか？</p>	<p><新病院建設対策監></p> <p>新病院建設の候補地については、以前の基本構想を策定した際に開催された市民懇話会の中で意見として出た候補地の中から抽出し、現在、庁内で検討している。今後、今年度策定予定の基本計画の中で、各候補地の概算の建設費や課題等を検討し、最終的な建設予定地を決定していきたいと考えている。</p>	<p>★地域医療対策室</p> <p>新病院建設の候補地については、以前、基本構想を策定した際に開催された市民懇話会の中で意見として出された候補地を中心に抽出し、現在、庁内で検討しております。</p> <p>今後、今年度策定予定の基本計画の中で、各候補地の概算の建設費や課題等を検討し、最終的な建設予定地を決定してまいります。</p>
<p>令和元年の前押川市長の時に新病院の建設計画の説明会があった時、ボーリング場のところを建設予定地に行っているとのことだったが、市議会で反対されてボツになって4年経った。コンパクトシティにするためには市役所に近いところが良いという意見もある。建設予定地が決まったら説明会を必ず開催してほしい。予定地が遠い場合、前はインターの近くにという話もあったが、その理由を含めて説明してほしい。</p>	<p><新病院建設対策監></p> <p>そのようにしたいと思います。</p>	<p>★地域医療対策室</p> <p>現時点では開催時期や手法については未定であります。建設予定地を含めた新病院施設整備基本計画の説明会は開催する予定としております。</p>

◎妻南地区 5月31日(金) 19:00~20:28 出席者 23名

質問要旨	会場での回答	市の回答
<p>私は以前、携帯電話のガラケーしか持っていなかった時にプレミアム付きの商品券を買えなかったので、今回のプレミアム商品券は市民が誰でも買えるようにした方がいいと考えている。</p>	<p><商工観光課長> 今回のプレミアム商品券は紙で発行する。以前実施したスマホのデジタル商品券は国の指導によりDX、いわゆるデジタル化を進めてほしいという強い要望があって実施したもの。今回はスマホを持たないという方もおられるので紙ベースでの発行となっている。商品券の申し込みは西都商工会議所になる。</p>	<p>★商工観光課 今回のプレミアム商品券は紙で発行しますが、申込はこれまでのハガキでの申請に加え、QRコードを活用したメールでの申込も可能とし、利便性の向上を図っております。</p>
<p>新規就農者の支援については、国や市からの資金や技術指導により確かに増えてきて、地域に活力が出てきて良いことだと思っている。また地域の田畑を守っていくためにも親元就農への対策もお願いしたい。</p> <p>コンパクトシティや中学校の統合の話がある中で、妻以外の旧村の人口が減ってきている。子どもはバスで通学するとなっているが、もう親が子どもと一緒に妻地区に引っ越して、旧村に仕事(農業)に通うという話を聞く。人口減少の中、中学校がなくなる地域の農家の方がこれから先、田畑の管理や地域の環境、鳥獣害被害など、どうなっていくのか不安に思っている。市域の広い西都市なので、中心部に機能を集めるだけでなく、市としての方向性を出して一緒に取り組んでいきたい。</p>	<p><市長> おっしゃる通りです。中学校統合や立地適正化計画・コンパクトシティの弊害の声をお聞きしているので、慎重に進めていかなければならない。例えば、若い農家さんが三納や三財に住んで農業をやっているような仕組みづくりを考えていかなければならない。</p> <p>また、新規就農者の方だけでなく、親元就農の方を大事に育てていくことも重要なので検討しながら進めていきたい。</p>	<p>★農林課 会場での回答のとおり。</p>

<p>☆2回目☆</p> <p>人口減少とともに税収も下がっていくと思われるので市民一人一人の負担が増えていくと思う。将来的には交通インフラ、上下水道などにお金が必要になるのは重々承知している。地域を維持するためには2～3個の集落が協力して一緒にやっていくなどを将来的には考えていかなければならないと思うので、市も勉強して我々に示してほしい。</p>	<p><市長></p> <p>ありがとうございます。市としても将来的なインフラ整備に要する莫大な費用を考慮しながらも市民の皆さんの生活が困らないように市政運営を行っている。地域を維持していけるように十分検討しながらやっていきたい。</p>	<p>★市民課</p> <p>人口減少、高齢化が進む中で、地域を維持していけるような取組みを市としても研究してまいります。</p>
<p>医療についてお尋ねしたい。1年前に県が2次医療圏について示しており、日向入郷、西都児湯、西諸とかは検討するとしており、橋田市長は見直しの意見を言われた記録があるが、高鍋町や新富町は危うい意見を出しておられる。今後、第8次宮崎県医療計画はどのようになっていくのか教えてほしい。</p>	<p><市長></p> <p>一般的な2次医療圏のほか、脳卒中や小児救急医療は県内7医療圏で枠組みされているが、西都児湯医療圏が一番の医療過疎で、医師が少ない。医師会の先生方は宮崎市と一緒にという考えもあるが、救急車で搬送するとき、後遺症が残ったり亡くなったりするケースもある。また、宮崎市内に入院となると家族の負担が大きくなるので、医療センターがある程度の完結型の救急病院として2次医療圏で位置づけされるようしっかりやっていきたい。心臓関係の常勤医は来ていただいているが、いずれは脳外科の常勤医にも来ていただき、入院や手術のできる、災害拠点病院や夜間急病もやれるような体制に向けて議会や各首長と一緒に宮崎大学や医師会の協力が得られるようしっかりと取り組んでいく。</p> <p><地域医療対策室長></p> <p>昨年度、策定された第8次宮崎県医療計画の中で医療圏域の人口のこともあり、今後の見直しの対象にはなったが、現状では7つの医療圏は維持され</p>	<p>★地域医療対策室</p> <p>昨年度、策定された第8次宮崎県医療計画の中で医療圏域の人口のこともあり、今後の見直しの対象にはなりましたが、現状では西都児湯医療圏を含む7つの医療圏は維持されております。ただし、脳疾患の医療圏に関しては7つから4つになり、西都児湯医療圏は宮崎市を含む宮崎東諸県医療圏に統合されました。</p>

	た。ただし脳疾患の医療圏に関しては7つから4つになった。	
<p>☆2回目☆</p> <p>日本脳卒中協会の宮崎支部のホームページを見ると、西都児湯だけ病院がない。延岡や日南は県病院、日向入郷は和田病院、宮崎市東諸県は大学病院や潤和会などあるが、西都には無く非常に残念なので今後ぜひ努力してほしい。</p>	<p><市長></p> <p>以前は医療センターにも脳卒中に対応できる医師がいたが、4年前に辞められた。もう一度、医療センターで脳疾患の入院・手術ができるように医師を確保していきたい。</p>	<p>★地域医療対策室</p> <p>会場での回答のとおり。</p>
<p>新富町では携帯電話に「今、危険ですので〇〇地区の方は早く避難してください」と入るが、西都市は何も連絡がない。危機管理課に聞くと、登録していない方には配信できないと言われたが、そうなのか？</p>	<p><危機管理課長></p> <p>防災無線と同じ情報を市公式LINEや防災メールで発信しているので登録をお願いしたい。</p>	<p>★危機管理課</p> <p>会場での回答のとおり。</p>
<p>☆2回目☆</p> <p>携帯電話をスマホに切り替えたが、LINEの登録はできるか？</p>	<p><危機管理課長></p> <p>本日の市政報告会終了後、市公式LINEの登録操作を行う。</p>	<p>★危機管理課</p> <p>資料にある市公式LINEのQRコードを読み取っていただくことで登録できます。または、市ホームページをご確認ください。</p>
<p>人口問題のことについてお伺いしたい。資料でここ2年は社会動態がプラスに転じているが、これまではずっとマイナスだった。これは高校卒業後に就職や進学で転出していることが一番の原因で、市や県央地区における誘致企業を下支えに西都市に帰って就職できるような環境をつくと人口減少が緩やかになると思うが、そのような考えはないか？</p>	<p><商工観光課長></p> <p>誘致企業や妻高校とも密に連絡を取り連携しながら、地元企業の紹介などをやっている。今、在校生にいろんな方法で市内の企業の良さをアピールする取り組みを考えている。</p> <p><市長></p> <p>今、企業の中では人手不足だと言われている。西都市に残っていただく、あるいは一旦、出ても西都に戻っていただけるような仕組みをつくっていかなければならない。例えば、市と企業が出資した奨学金制度により、進学しても何年後かに西都に戻っ</p>	<p>★商工観光課</p> <p>会場での回答のとおり。</p>

	てくれば奨学金の返済免除と雇用の受け皿として環境整備ができないか、現在、検討している。	
私はテゲバジャーロ宮崎のファンで、西都市はホームタウンだが、例えば学校にのぼり旗を立てれば子どもたちももっとサッカーに興味を持ち、プロを目指すなど生き生きと輝いてくるのではないかと思う。西都市もテゲバジャーロと一緒に地域を盛り上げるように連携してほしい。	<p><市長> おっしゃる通り、ホームタウンとして手を挙げた目的はサッカーを通して地域を盛り上げるためであり、清水台でキャンプや強化練習を行うなど連携は密に図られている。親会社のいちごさんからも1,000万円を超える企業版ふるさと納税をいただいております。清水台の施設の充実やホームタウンとしての拠点づくりを進めていきたいと考えている。</p>	★スポーツ振興課 会場での回答のとおり。
医療センターに務めている者です。市長には現理事長を呼び戻していただいて感謝している。現理事長は医療に対して真摯に誠実に取り組まれており、4月からは素晴らしい内科医の先生も着任いただいた。スタッフも忙しくなったが、地域の皆さんにお役に立てる病院に少しずつなっていると思っている。今後も市と議会と医療センターが一致団結して取り組んでいければと思います。	<p><市長> 今、市と医療センターは密接に連携して、市民の安全・安心、命を守るための再建・充実に取り組んでいるのでご理解をいただきたい。</p>	★地域医療対策室 会場での回答のとおり。
西都市立地適正化計画は既に策定されているが、今後見直しの予定はあるのか？ 以前の説明会で質問したが、この計画の中では公的病院や災害拠点病院としての医療センターをどこに建設するかは決まっていないとの事だったが、それはおかしいのではないのか？	<p><建設課長> 本計画は本年3月末に策定済で公表し、国に提出している。都市機能誘導区域として市街地に医療、福祉、商業などの誘導施設を設けているが、但し書きで医療センターは除いている。理由は、災害拠点病院としての面積要件や現時点で新病院の建設予定地が決まっていないことなどである。</p>	★建設課 会場での回答のとおり。
☆2回目☆ 本計画を提出した際に医療センターを誘導区域に設定しなかったことについて国から質問はなかったか？	<p><建設課長> 国からは質問はなかったが、議会からは意見が出た。</p>	★建設課 国からは質問はありませんでしたが、計画策定委員会及び議会からは様々なご意見をいただきました。

◎東米良地区 6月2日(日) 14:00~15:42 出席者 31名

質問内容(概要)	会場での回答	市の回答
<p>4月の始めに区長等と県道西都南郷線の通行止めの件で市長に嘆願書をお持ちし、約2ヶ月が経ちようやく復旧の方向性が出た。この間、市が国土交通省や国会議員の先生のところをお願いに行ったのか？</p> <p>市が官庁や国会議員と深い繋がりがあれば、もう少し早く解決できたのではないかな？</p>	<p><市長></p> <p>これは県道なので、まずは県に対して強い働きかけをすることが重要。先日、西都土木事務所長からの報告によると、国所有の資材を使って仮橋を架けようとしたが、時間がかかるということで県が直轄で早期に着手することになった。しかも地元の業者である伊達組が施工することになり、出来ることから8月の早い段階に復旧できるようお願いをした。県は一生懸命に対応していただいている。</p>	<p>★建設課</p> <p>国土交通省や国会議員の方への要望は行っておりませんが、西都土木事務所と市が早期に復旧できるよう一丸となって取り組んでおります。</p>
<p>医療センターに4名の常勤医師が確保できたことは喜ばしいことだが、脳外科医と脳神経内科の常勤の医師はおられるのか？</p> <p>また私は銀鏡神楽保存会の会長を仰せつかっている。銀鏡神楽は地元企業や東米良創生会などの大きな支援で成り立っている。都於郡歴史館の整備は素晴らしい取り組みだが、行政として民俗芸能団体や神楽保存会など無形文化財に対する補助金のあり方・増額を検討してほしい。以前は教育委員会から年間3万円の補助だったが、現在は2万7千円に減額されている。別に商工観光課から10万円の補助があるが、これは観光とリンクしており神楽保存会が自由に使えるものではない。</p>	<p><市長></p> <p>常勤医師はいない。大学の医局自体に脳外科医の先生が非常に少ないと聞いているが、大阪大学から新しく教授が来られ、医局員を増やそうと取り組まれますので、出来ればその医局員の中から医療センターへ常勤医をお願いできればと、現理事長等と話をしているところです。</p> <p>神楽は歴史を繋いでいく精神・伝統だと思う。国指定の文化財でもあるので補助金の増額ができないか検討してまいりたい。</p>	<p>★地域医療対策室</p> <p>会場での回答のとおりですが、現在、脳神経外科、脳神経内科の常勤医師は不在の状況となっております。</p> <p>★社会教育課</p> <p>現在、民俗芸能保存団体連絡協議会11団体に対し、年間2万7千円ずつの補助金を支給しております。各民俗芸能団体の運営を考慮すると十分な補助額ではないと考えていることから、今後、近隣市町村の状況等も加味しながら検討してまいります。</p>
<p>西米良村の小川まわりの道路工事を7月31日までの工期で行っているが、これなら一ノ瀬まで約1時間で道幅も広い危険度も少ない。市長には早期完了できるよう県に強い働きかけをお願いしたい。</p>	<p><建設課長></p> <p>米良・椎葉線という林道で、現在、災害復旧工事を行っている。県道の仮橋同様、一刻も早く完了できるよう監督してまいりたい。</p>	<p>★建設課</p> <p>会場での回答のとおり。</p>

	<p><市長> 私からも強く働きかけたい。</p>	
<p>この集会所をはじめ、災害時の避難所や選挙の際に障がい者が安全に利用できるトイレが整備されていない。便座部分が壊れかけているようなので改修をお願いしたい。</p> <p>また市役所の新庁舎も不便で、身障者のトイレやエレベーターが庁舎の一番奥にあるので、身障者の駐車場からはかなり移動しなければならずとても不便。庁舎の西側の駐車場ならエレベーターなどに近いが、そこは業者や公用車の駐車場となっており、非常に使いづらい庁舎となっている。もう少し身障者にやさしい西都市であってほしい。</p>	<p><市長> 身障者の方については、庁舎西側の駐車場の利用を含めて検討します。</p> <p>また、この集会所にも身障者用に洋式のトレイが必要だと思いますので、補助事業等がないか庁内で検討します。</p>	<p>★財政課 エレベーターやトイレが正面から奥に配置されている理由については、庁舎1階には、市民課・税務課・健康管理課・福祉事務所の窓口部門を集約しており、来庁者の目的の場所が分かりやすく見通しのよい効率性・機能性を重視した配置としているためです。また身障者駐車場についても、正面玄関前に設置してあり、利用者の要件に便利な配置としているところであります。</p> <p>ご意見のありました庁舎西側での駐車についてであります。こちらは公用車及び関係者駐車場と位置づけており、安全管理上、来庁者駐車場と分けておりますので、エレベーターやトイレを利用する際には、少し奥になりますが、これまでどおり正面来庁者駐車場に止めていただくようお願いいたします。</p> <p>現在も正面玄関入口には、エレベーター、トイレを含めた配置図を大きく表示しており、玄関近くの総合案内には職員も配置しておりますが、これからも皆様のご意見を伺いながら、分かりやすく丁寧な案内を心がけてまいりたいと考えております。</p> <p>★社会教育課 銀鏡集会所トイレは、和式に洋式型便座が設置されております。便座の破損内容を把握し、緊急性及び必要性を判断しながら、今後の対応を検討してまいります。</p>

<p>銀鏡橋は建設後60年ほど経っており、危険ということで大きな車両が通行できない。木材の搬出が出来なかつたり、かぐらの里も荷物を分けて運んだりしている。新しい銀鏡橋を川沿いに建設するという計画もすでに6～7年経過したが、どうなっているのか分からない。地権者の了解を得て、現在ある銀鏡橋のところに架け替える方が良いと考えており、もっと積極的に進めてほしい。</p>	<p><建設課長> 現在の銀鏡橋は6トンの通行制限がかかっている。ただし、なぜ6トンなのかという根拠データが無いので、今年の8月頃までには橋の荷重調査を開始し、今年度中に何トンまで大丈夫かという結果が出る。その結果次第では架け替えではなく、現在の橋の耐荷重を増やすための補強を検討していきたい。なお、川沿いのルートについては現在は保留とご説明しておりますが、川側に張り出すとなると莫大な費用がかかり、様々な検討を重ねてきたため時間を要したということをご理解をいただきたい。</p>	<p>★建設課 会場での回答のとおり。</p>
<p>小八重地区の以前、崩落した道路箇所のヒューム管を線状降水帯に耐えられるような大きなものにしてほしいと建設課に要望していたが対応していただき大変感謝している。</p> <p>市にお願いしたいのは、いろんな計画や要望に対して途中の段階で説明してほしい。いつも決まってから報告があって質問できるような状況にない感じがする。</p> <p>今回のような市政報告会においては、市からの説明ではなく地域ごとのこれまでの要望等への説明があるとありがたい。</p> <p>今の関心事は西都市の地籍調査が25%程度しか進んでいないこと。境界が分からないと土地の売買もできないので、今いる人たちが生きているうちに進めてほしい</p> <p>尾八重神楽が無形文化財の国指定になったことは嬉しいことだが、イベントに参加した時の舞う衣装のクリーニング代などの支援をして</p>	<p><市長> いろんな計画などについては決まったことを報告するのではなく、事前に皆さんと相談・調整しながら行うよう担当課に指示する。</p> <p>地籍調査についてはドローンなど新たな手法を使ってできるだけ早く進めたい。</p> <p>農業用水については山間地域における個別最適な方法を地域の方と相談しながら検討したい。</p> <p><農林課長> 東米良地区の地籍調査については令和2年度に八重地区からスタートし、リモートセンシング方式で調査を行っているが、思ったよりスピード感は上がっていない。そこで森林環境譲与税を活用して地籍調査に近い森林境界明確化という調査を行うことで先に山林の境界を決めていく作業を進めていこうと考えている。</p>	<p>★総務課 市が計画等を策定する際には、これまで以上に市民の皆様様に丁寧な説明し、ご意見を伺いながら進めてまいります。また、地域や団体からの要望等については、各担当課が主体となり結果報告まで対応するよう徹底いたします。</p> <p>なお、以上の内容については7/5に行われた定例課長会において、市長からすべての課等の長に口頭で指示しております。</p> <p>★農林課 会場での回答のとおり。</p> <p>★社会教育課 イベント参加時の衣装のクリーニング代については、依頼者側からの謝金等が生じる場合は、その中で対応をお願いいたします。また、市が参加</p>

<p>ほしい。</p> <p>農業用水に非常にお金がかかる。山村の暮らしが継続できるよう支援してほしい。農業用地の維持管理について各地域からの相談に乗ってほしい。</p>	<p>農業用水については現地を見て今後の利活用の方針等を地元の方と相談し、必要な箇所に必要な用水の整備を検討させていただきたい。</p>	<p>を求めるイベントにおいても、謝金等での対応をお願いしたいと考えております。</p>
<p>NPO 法人東米良創生会の理事をしている。地域住民は創生会の恩恵にあずかっており、数億円の資金を投じて東米良のために頑張っている浜砂理事長が数日前に医療センターの件で市を提訴するという話があった。あまり良くない関係が続いているので、私たちとすれば何とか関係性を改善してほしいという強い思いがあるので善処してほしい。</p>	<p><市長></p> <p>東米良創生会の活動には本当に敬意を表している。人口減少や高齢化の中にあっても東米良地区はしっかりとやっけていただいている。ただ今回の件は訴状を見ていないので答えられないが、医療センターは脳外や心臓関係の二次救急をしっかりとやっけていく、そして独立採算制を目指すことが目標であり、西都児湯の住民の命を守り安心安全を確保することが我々の使命と考えているのでご理解いただきたい。</p>	<p>★総務課</p> <p>東米良創生会におかれましては、地域の高齢者福祉対策や子育て支援、観光振興やイベントの開催への支援など、さまざまな地域の課題解決に向けてご尽力いただいております。感謝申し上げます。</p> <p>なお、医療センター前理事長の件に関しては、訴訟中の内容となりますので回答を控えさせていただきます。</p>
<p>県道が仮復旧するまでの間、迂回路を使って毎日通勤する人や買い物に行く人がいる中で、パンクの修理代、ガソリン代の高騰や消費量の増加など諸々の経費が増えているので、そういった人に何らかの補助は出ないのか？</p>	<p><市長></p> <p>皆様のご苦勞は理解している。自然災害に対してどのような支援ができるか、市としても悩ましいところである。すぐすぐに支援可能かどうかは申し上げられないが、検討していくのでご理解をいただきたい。</p>	<p>★総合政策課</p> <p>住民の皆様の日常生活を支え、地域の生活道路の安全確保、移動の不便さの軽減を図るため、西都市コミュニティバス銀鏡・尾吐線については、一ノ瀬バス停留所までの運行としていたものを、仮橋の供用開始までの間、経路を一部変更し、まわり道である糸郷谷線を経由して終点の尾吐まで運行することとしました。</p>
<p>迂回路の林道については穴などを埋めて整備していただいているが、一カ所だけタイヤが通る所が陥没しているので整備してほしい。</p>	<p><市長></p> <p>そのような箇所はご連絡いただければ対応します。</p> <p><建設課長></p> <p>大変ご迷惑をおかけしております。舗装の下がり</p>	<p>★建設課</p> <p>会場での回答のとおり。</p>

	<p>等の対応は先週、業者に指示している。施工はまだだが、市の方で対応します。県道の仮復旧までまだ3カ月かかるので、その間は迂回路である林道を県と一体となって重点的に維持管理を進めていきます。</p>	
<p>週に5回ほど朝早く5時半ごろに林道を通って市街地に出ているが、毎回、落石をどかしている。毎日ではなくても定期的な見回りをお願いしたい。</p> <p>また、土木業者さんが仕事終わりに連なってカーブをスピードも緩めず大回りで通行し、怖い思いをした方がたくさんいる。市から業者さんに注意喚起をしていただきたい。</p>	<p><市長> いろいろ問題等があれば随時ご連絡をいただきたい。その都度、対処していきたい。</p>	<p>★建設課 市と西都土木事務所により定期的な巡回を行っておりますが、問題個所があれば随時連絡をいただきたい。</p> <p>また、建設業者の方には安全運転に努めるよう注意喚起を行いました。</p>
<p>長年、県外に住んでいて帰ってきて10年ほどになる。医療センターについては、母が急に倒れた時に浜砂亮一先生に助けていただき感謝している。ある時期に市長が変わって、事情は分からないが、外から見た印象ではかなり強引にその市長が浜砂理事長に交代させた。いわば巻き込み事故のように浜砂理事長がそんな立場に追い込まれた。客観的には前の市長の対応が悪かったと思う。浜砂理事長は頼まれたので淡々と仕事をしていたら、今度は今の市長がもう辞めてくださいと。だから今の市長も前の市長も似たり寄ったりで、一生懸命に地域のことを考えている浜砂理事長が騒動に巻き込まれたというのが大雑把な顛末ではないかと思う。解決するには腹を割って話をして、地域のこと頑張っている浜砂理事長の顔を立てる形で市長がうまく取り計らっていただければ、</p>	<p>回答なし。</p>	<p>★総務課 医療センターについては、西都児湯二次医療圏の中核的病院として、以前のように地域における緊急性の高い脳疾患などの二次救急医療の提供ができる体制に向け取り組んでまいります。</p> <p>なお、医療センター前理事長の件に関しては、訴訟中の内容となりますので回答を控えさせていただきます。</p>

<p>事は収まると思う。市長も浜砂理事長も一生懸命やっただいているので、地域住民が困らないよううまく和解できるようぜひお願いしたい。</p>		
--	--	--

◎穂北地区 6月3日(月) 19:00~20:32 出席者 30名

質問内容(概要)	会場での回答	市の回答
<p>市の方にも連絡しているが、桜川が繁茂している。西都土木事務所にも何とかしてほしいとお願いしているが、市の方からも早めにしてもらうように要請してもらいたい。</p>	<p><建設課長> 桜川は県の管理になる。建設課にも、市民から相談を受けているため、既に都萬神社から上流側の調査を行い、写真等をつけて西都土木事務所に要望をしたところです。ただ、土木事務所からは現時点(6/3時点)での具体的な回答をいただいていない。</p> <p><市長> 市の方から強く要望します。</p>	<p>★建設課 桜川については、西都土木事務所から順次、河川浚渫等を行うと回答がありました。</p>
<p>RS ウイルスワクチン、帯状疱疹ワクチンなど病気予防のためのワクチン代が高い。子ども達を支援するのは当然だが、年金暮らしの年寄りのケアもお願いしたい。</p>	<p><市長> 県内市町村がどのくらい補助しているのか等の対応を確認して、検討していきたい。</p>	<p>★健康管理課 帯状疱疹ワクチンについては、公費負担となる定期接種化に向けた議論が国において行われており、今後の動向を注視してまいります。 RS ウイルスワクチン接種への助成については、他自治体の状況等を調査・研究してまいります。</p>
<p>茶臼原入口の交差点に、何年か前に木を綺麗に植えられたが、現在、繁茂している。県の土地だと思うが、市建設課は見て回って、県にきちんとしてもらいたい。私たちが電話しないと見に行かない。</p>	<p><建設課長> 道路の巡視については、しっかりとやってまいります。</p>	<p>★建設課 茶臼原交差点の植栽については、県に報告を行い、着手予定であるとの報告を受けております。その他の個所についても適宜、道路の巡視を行ってまいります。</p>
<p>川仲島プールについて、現在は老朽化で稼働していない。以前は市外からの来場もあり、今も市外の方からも問い合わせがある。川仲島プールを再開するには莫大な金額がかかるのは分かるが、西都市をアピールするのに活かすべきではないか。野球場もあるが、「へビに注意」という看板があって、安心して観戦ができない。草刈り等の整備はどうなっているのか？</p>	<p><市長> プールの再開は難しい。 今後の活用方法として、1つの案としてアーバンスポーツ(BMX、スケートボード、パルクール、インラインスケート、ブレイクダンスなどの都市型スポーツのこと)やキャンプ場などを検討している。前向きにやっていきたい。</p>	<p>★スポーツ振興課 市としましてはプールの再開は難しいと考えており、アーバンスポーツやキャンプ場などを含め今後の活用について検討しているところであります。また、公園内の草刈り等の整備については、定期的実施しております。今後も適正な維持管理に努めてまいります。</p>

<p>川仲島の今後の方向性、整備について伺いたい。</p>		
<p>国の政策について、西都市でどのように実現していくのか伺いたい。認知症、介護などの多くの課題について、地域の皆さんで協力してサポートする共生社会の実現で解決できると考える。</p> <p>公民館活動、地域づくりの運動、民生委員などの後継者がいなく、崩壊が近い。全国的な問題である。</p> <p>色々な団体が同じ問題を抱えているが、新たなネットワークづくりをするべきなのか。今後の共同体の在り方についてどのように考えているのか伺いたい。</p>	<p><副市長></p> <p>これまで、地域組織の再構築に関する検討や行政が地域組織に依頼する各種役員の合理化などを庁内関係課や関係団体等も含めて検討してきた。</p> <p>市政連絡区長会、民生委員児童員協議会、自治公民館連絡協議会、地域づくり協議会及び市民に対するアンケート調査を踏まえ、各組織の現状把握と今後の方向性等について意見交換を行った。</p> <p>各組織が抱える課題等について共有を図れたが、各組織の設置目的などが違うため、組織の再編等は非常に難しい。</p> <p>現状としては、各組織も現体制でやろうということで進んでいるが、引き続き検討等を進めていく必要がある。</p> <p><市長></p> <p>組織をまとめようとしたが、なかなか難しかった。もう1度、組織の課題を深掘りして、どう解決できるか考えていきたい。</p>	<p>★市民課</p> <p>これまで地域組織の再構築に関する検討や行政が地域組織に依頼する各種役員の合理化などを庁内関係課や関係団体等も含めて検討してまいりましたが、各組織とも現体制でやろうということで進んでおります。引き続き、各担当課と各組織の中で、深掘りしながら協力して進めていく必要があると考えております。</p>
<p>西都商業高校の跡地に宿泊施設ができるのか？ また、道の駅の土地の現状と今後について伺いたい。</p>	<p><商工観光課長></p> <p>西都商業高校の跡地の具体的な活用計画は出せていない状況。ただし、一部については飲食系の直売所が活用するとのことで、年内には開店する予定であり、今後の詳細については議会等で公表していきたい。</p> <p>宿泊施設含めて全体の活用方法については検討が進められている。土地所有者の（株）日南の現在の経営状況が令和3年の土地取得時と比べると大</p>	<p>★商工観光課</p> <p>会場での回答のとおり。</p> <p>★農林課</p> <p>会場での回答のとおり。</p>

	<p>きく変わっており、宿泊施設よりも会社の経営改善に注力されている。その点については、市としても十分に理解しているところである。</p> <p><農林課長> 食の拠点の土地については、当面は、市内の老朽している公共施設の代替え用地として考えている。最終的に公共施設での活用がない場合は、その他の用途としての活用を検討する。</p>	
<p>①人口減少により、組織改編をしないとどうにもならないと思っている。区長会、公民館長会、地域づくり協議会の3つの組織を1つにしているかどうか。高齢化により、役員のみ手がない。これまでに副市長を長として、組織改編の研究會を開いたようだが、その結果はどうなったのか伺いたい。</p> <p>②2年間かけて検討したものが今後できると思えない。トップダウンで指示しないと解決できないのではないか？</p> <p>区長会、公民館会の事業そのものは似ているのに、公民館長は自主組織なので、公的資金がこない。区長は手当があるのだから、区長と公民館長を兼ねるようにしてはどうか？</p> <p>穂北には「公民館連絡協議会」があるが、これをしっかり精査すれば、地域づくり協議会とやっていた事業と一緒にではないか？ 公民館の維持管理でさえ難しい地区が出ているから一本化すれば良い。</p> <p>昨日、赤い羽根の共同募金の集金をしたが、何の手当もない。それなのに、社会福祉協議会</p>	<p><市民課長></p> <p>①令和3年～4年（2年間）に「今後の地域コミュニティの在り方の検討会」を開催したが、組織の再編については非常に難しい状況にある。</p> <p>しかし、このままにするのではなく、今後もそれぞれの組織、担当課などが協議、連携して課題の深掘りをしながら、それぞれの活動の周知等を図っていききたい。</p> <p><市長></p> <p>②仰ったことは一理ある。改革をしようとする相応な時間がかかり、さらに補助金を色んなところに出そうとすると、莫大なお金がかかるため、整理する必要があるため、本当に必要なところに出していきたい。</p> <p>地域でまとまろうとする意欲を作れるように今後はしていきたい。ご意見を踏まえて、今後、大改革をやらなないといけない。</p>	<p>★市民課 会場での回答のとおり。</p>

<p>から区長会に補助金、助成金が出ている。</p>		
<p>①移住者相談者件数の増加、移住者が倍増しているとのことだが、移住した人・移住しなかった人の西都を選んだ理由、選ばなかった理由は何だったのか？ 決定的な理由は何だったのか教えてください。</p> <p>②令和2年度から移住者が増えているが、多額の助成金を出しているのであれば、移住者のアンケート答えをもとに移住者の判断材料の伸ばすべきところをきちんと考えてもらいたい。</p> <p>③これからイベントが増えていく中で、グリーンツーリズムだけでは宿泊施設が足りない。ふるさと納税が増えており、半分がふるさと振興基金になるとのことであったが、それを基に西都市の5年後、10年後、20年後を考えて西都市の政策を考えてもらいたい。</p>	<p><商工観光課長> 移住支援センターをKOKOKARAに委託して、相談者が増えた。きっかけ、内訳についてはセンターで収集しているため、現在資料を持ち合わせていない。</p> <p>移住者は県外、関東からが多いと思われる。</p> <p>西都が選ばれる理由としては、住宅助成最大200万円、企業創業助成最大160万円は他市町村に比べても大きな金額となっているため、選ばれている要因となっていると考える。</p> <p><市長> 宮崎県の真ん中で南海トラフ大地震の津波の影響がない。宮崎市、宮崎空港にも近く、利便性が良い。自然が豊かで、宮崎市の近くで田舎暮らしができ、食べ物も美味しい、といったことが挙げられる。</p>	<p>★商工観光課 移住された方からは就農サポートが充実している点、起業・創業支援金制度の充実している点などが評価されております。また、移住支援センターの相談担当職員が全員市外出身者で構成されていることから移住者目線での相談対応が出来ている点もよい、とのお声をいただいております。</p>
<p>①防災無線が聞こえない。どこが避難所なのか、どの段階で避難したら良いのか、高齢者の避難場所は別にあるのか？</p> <p>②避難所に行こうにも、車を駐車できないのであれば避難所に行っても、中に入れない。最悪、車に泊まればいいのだから、トイレだけでもあればいい。高いところの避難所、高齢者の避難所についてもっと考えてもらいたい。よろしくお願ひしたい。</p>	<p><危機管理課長> 防災マップには、穂北地区の避難所は「穂北小学校」、「穂北中学校」、「穂北地区館」、「茶臼原地区体育館」、「茶臼原小学校」、「団公民館」、「串木公民館」等となっている。穂北住民の方でも、妻地区の「市公民館（旧コミュニティセンター）※工事のため暫定使用不可」に避難することができる。「市公民館（旧コミュニティセンター）」には和室がある。避難所によっては畳がないところがあるため、市の方でマットを用意するが場所によっては難しいところもある。</p> <p>防災無線については、デジタル無線方式に更新しているが、今後は防災メールや市公式LINEを活</p>	<p>★危機管理課 台風等の暴風雨時には防災無線が聞こえにくい場合もあります。防災無線と同じ情報を市公式LINEや防災メールで発信していますので、まずはそちらの登録をお願いいたします。また、携帯電話受信困難地域、避難行動要支援者、区長、公民館長及び民生委員のうち希望される方には新たな受信方式に対応した戸別受信機を設置する予定です。</p> <p>高齢者のみを対象とした避難所ではありませんが、避難行動要支援者については福祉避難所等も利用できます。</p> <p>各避難所については、地区毎の防災マップを参</p>

	用していただきたい。メール等の受信が難しい場合は戸別受信機を貸与する。	照していただき、自宅付近の避難所及び避難ルートの確認をお願いいたします。高台の避難場所については、西都原、清水台及び茶臼原小学校の駐車スペースがあります。
--	-------------------------------------	---

◎三納地区 6月4日(火) 19:00~20:18 出席者 24名

質問内容(概要)	会場での回答	市の回答
<p>三納地区は人口減少、高齢化により公民館活動がなかなかできない状況になっている。</p> <p>古い公民館が多いため、三納地区館には台所もあるので、公民館活動に使わせてもらえないか？ 地区の意見交換会、食事会などの活動に何とか使わせてもらいたい。</p>	<p><市長></p> <p>三納地区は自然環境が素晴らしい。水が綺麗で、平地となっており、自転車で移動しやすい。</p> <p>今後、中学校の跡地に企業の誘致ができないか考えている。</p> <p>人口減少により集まる場所がないとのことで、地区館の規定があるかもしれないが、時代に合わせた使い方を前向きに検討していきたい。</p>	<p>★社会教育課</p> <p>社会教育法の規定に基づき設置された公民館については、西都市公民館管理運営規則で公民館の行う事業が定めてあり、各種講座開設や討論会、講演会のほか、住民の集会その他の公共的利用に供することなどを行うとされております。</p> <p>地域住民の公民館活動の利用については、事前に協議・調整が必要ですので、地区公民館にお問い合わせください。</p>
<p>①防災無線が聞こえないのはもったいないので、今後の防災無線、防災ラジオのあり方について伺いたい。</p> <p>②平野地区に住んでいる方は、病院は妻地区の病院ではなく、三財病院を使う方がほとんどだと思ふ。しかし、コミュニティバスが三財方面にないので、運行ルートについて検討してもらえないか？</p>	<p><危機管理課長></p> <p>①今後は、市公式LINEを登録して、防災情報を取得していただきたい。一方、電波が届きにくい地域、土砂災害警戒区域や浸水想定区域内でスマホが使えない等で希望される方に対しては、新しい戸別受信機を配布する。市内全世帯に対して今年1月に受信機設置に係る意向確認の書類を出したが、改めて意向文書を配布する。今使っている防災ラジオは、今後は防災情報を聞くことができないが、ラジオとしては利用できる。</p> <p>戸別受信機は1台約3万円で、更新するたびに数億円かかることになるため、今後はできるだけ市公式LINEや防災メール等のツールを活用していただきたい。</p> <p><総合政策課長補佐></p> <p>②三財病院を利用する方が多いという実情を踏まえて、検討したい。改めて回答させていただきたい。</p>	<p>★危機管理課</p> <p>①会場での回答のとおり。</p> <p>★総合政策課</p> <p>②平野・石尾線の終点である石尾地区を区域運行デマンド型乗合タクシーの区域に設定し、既存の加勢・小豆野線との結節に向けて交通事業者等と調整を進めているところであります。</p>

	<p><市長></p> <p>②デマンド型タクシー、敬老バス、シニアバスで、できるだけ安く病院に行けるように検討していきたい。</p>	
<p>①QRコードなどデジタル化が進んでいるが、防災ラジオが必要な方には対応をお願いしたい。全ての人がLINEで情報を得ることはできない。</p> <p>②多様化する災害への対応について何か考えがあるのか？</p> <p>③これまで5回、避難所に避難してきた。低地ではなく、できるだけ高台、頑丈な施設に避難所に設けてもらいたい。高台だと車で避難できて車を守ることができる。</p> <p>④コミュニティセンターの和室に避難したことがあるが、「ベッドじゃないと眠れない」、「冷房の設定温度で採めている」、「部屋を分けてもらいたい」、「テレビを見て情報収集したい人、大人数では眠れない人もいる。」などのトラブルがある。</p> <p>これらを考えて、避難所を設置してもらいたい。高齢化のなかで、高齢者が避難所で過ごしやすい環境をつくってもらいたい。また、これまでの避難者からの意見収集、反映はあるのか？</p>	<p><危機管理課長></p> <p>①戸別受信機の設置（貸与）希望をされる方の意向調査を改めて行う。</p> <p>②気象台の線状降水帯予測（範囲、時間など）の精度が上がっており、災害対策本部としては今後も気象台や関係機関とは連携を図っていきたい。</p> <p><市長></p> <p>②早め早めに避難してもらうように情報を提供していきたい。</p> <p><危機管理課長></p> <p>③高台については、西都原、清水台が考えられる。</p> <p>④コミセン和室のスペースには限りがある。全部屋に畳を敷くのは現実的でない。代わりに、厚めのマットや徐々に備蓄している段ボールベッドを活用したい。災害時には冷房の設定温度までは対応できないので部屋を2つに分けることはできない。避難所の改善等については、避難所に来られた方から話を聞いて、意見共有を図っている。</p>	<p>★危機管理課</p> <p>会場での回答のとおり。</p>

	<p><市長></p> <p>④避難には、短期避難と長期避難があるが、災害が起きた直後は命を守るための短期避難となるため、冷房等についてはご理解いただきたい。また、高台の避難については、医療福祉専門学校なども避難できないか検討していきたい。医療福祉専門学校は前回もさせていただいた。</p>	
<p>中学校が西都中学校になるとのことで、三納中学校が無くなるのは寂しい。現時点で、空き校舎の利活用できない学校、解体しないといけない学校はあるか？</p>	<p><教育政策課長></p> <p>三納中学校は築 60 年経過し、耐震化されていないため、取り壊しの方向で検討している。他の校舎については、築 60 年を超えるものもでてくるため今後の取扱いを検討していきたい。</p>	<p>★教育政策課</p> <p>会場での回答のとおり。</p>
<p>この市政報告会を開いてもらって嬉しかった。今回の市政報告会の質疑応答は文章として報告してもらいたい。他の地区でどんな質問があったのか知りたい。</p>	<p><市長></p> <p>市のホームページ、市広報誌等で周知を図りたい。</p>	<p>★総務課</p> <p>市政報告会で配布した資料及び意見交換会（質疑応答）の要旨を市のホームページに掲載するほか、区長文書においても回覧しております。</p>

◎都於郡地区 6月6日(木) 19:00~20:59 出席 33名

質問内容(概要)	会場での回答	市の回答
<p>高齢化が進む中で、医療センターに脳外科に対応できる医師を配置してもらいたい。大変だと思うが、時間との勝負、切羽詰まった問題であるため、市の方でも頑張ってもらいたい。</p>	<p><市長> 現在、大学では脳外科の先生が少ないが、教授が替わったので、近々に要望に行くなど一生懸命頑張る。 西都児湯郡で脳外科の手術をできる病院がない。安全安心を守るため、何とかして脳外科の先生を確保する必要がある。1~2年では難しいが、常勤医師の確保を続ける。</p>	<p>★地域医療対策室 会場での回答のとおり。</p>
<p>①児湯郡の町村長から要望があるとのことだが、児湯郡からの町村から負担金、費用負担などはあるのか? ②危機管理において、災害時の生活用水は必須になる。井戸水、雨水を活用するための補助金が必要ではないか? 早急に検討すべきではないか? 援助をお願いしたい。</p>	<p><市長> ①患者の夜間、救急搬送状況に応じて、運営負担金を負担してもらっている。また、新病院建設のための費用については、児湯郡には相談することになるが、支援は求めていく。 <危機管理課長> ②災害時の生活用水の確保には、地震等における断水について、西都児湯生コン業組合、妻湯と協定を結んでいる。 井戸水のデータ提供を上下水道課に相談するも、個人情報保護のためデータ提供ができなかった(概数のみ提供)。今後、井戸水の活用については庁内検討する。 雨水タンクについては、自主防災組織が活用するのであれば組織に対して補助することはできる。</p>	<p>★地域医療対策室 ①児湯郡町村からは、夜間急病センターの運営に係る不採算(赤字)となる部分について、利用者数に応じて負担していただいております。 ★危機管理課 ②災害時における井戸水の活用についても、自主防災組織が活用されるのであれば、「自主防災組織啓発促進補助金」の補助対象(取水装置等の資材のみ)とさせていただきます。</p>
<p>負担は個人が負担するのか? 西都児湯医療圏だから西都児湯医療センターと名前がついているだけで、運営は西都市がやっているのですよね? どのくらいの%か? 要望をす</p>	<p><市長> 運営負担金は町村が負担するもの。負担金は何千万円負担してもらっている。運営は病院が独自に行っている。</p>	<p>★地域医療対策室 夜間急病センター運営費負担金は、町村に負担していただいております。負担割合は、利用者数に応じたものとなっており、西都市が約7割、児湯郡</p>

<p>るのであれば、それなりの金額を出していると考え。病院を充実するために西都市の負担だけが大きくなるようにしてもらいたい。</p> <p>井戸水は、地元の井戸水をすぐ使えるようにしてもらいたい。</p>		<p>町村が約3割となっております。</p> <p>また、児湯郡町村と同様に利用者数に応じて、宮崎市・国富町にも負担していただいております。</p>
<p>①住民説明会の在り方として、先日の立地適正化計画の地元説明会には15名ほどだけ参加していたが、今回の市政報告会の内容を沢山の人が見られるように工夫してもらいたい。</p> <p>②令和5年度完成を目途にした副市長トップで組織された地域の在り方の検討会はどうなったのか？</p> <p>③砂防指定地の土地の危険性について教えてください。</p> <p>④新病院建設に時間がかかるのであれば、その前に、ドクターヘリ・ドクターカーを活用して、救急搬送、医療を進めることで、病院ができるまでは救命率は高まるのではないかと？</p>	<p><総務課長></p> <p>①市ホームページで音声付きの説明を載せられないか検討する。</p> <p><市長></p> <p>①ホームページだけでなく、別刷りの配布も考えている。</p> <p><建設課長></p> <p>①立地適正化計画では、市広報紙、市HP、各支所で情報提供を行ったが、市民の皆さんへの情報周知は今後の課題と研究していきたいと考えている。</p> <p><副市長></p> <p>②持続可能な地域組織の在り方について</p> <p>これまで、地域組織の再構築に関する検討や行政が地域組織に依頼する各種役員の合理化などを庁内関係課や関係団体等も含めて検討してきた。</p> <p>市政連絡区長会、民生委員児童員協議会、自治公民館連絡協議会、地域づくり協議会及び市民に対するアンケート調査を踏まえ、各組織の現状把握と今後の方向性等について意見交換を行った。</p> <p>各組織が抱える課題等について共有を図れたが、各組織の設置目的などが違うため、組織の再編等は非常に難しい。</p>	<p>★総務課</p> <p>①市政報告会で配布した資料及び意見交換会（質疑応答）の要旨を市のホームページに掲載するほか、区長文書においても回覧しております。</p> <p>★建設課</p> <p>①会場での回答のとおり。</p> <p>★市民課</p> <p>②これまで、地域組織の再構築に関する検討や行政が地域組織に依頼する各種役員の合理化などを庁内関係課や関係団体等も含めて検討してまいりましたが、各組織とも現体制でやろうということが進んでおります。引き続き、各担当課と各組織の中で、深掘りしながら協力して進めていく必要があると考えております。</p>

	<p>現状としては、各組織も現体制でやろうということで進んでいるが、引き続き検討等を進めていく必要があり、現在進行中であり、令和6年度が最終年度となる。</p> <p><危機管理課長></p> <p>③砂防法では、砂防指定地は治水上の砂防施設を要する土地であり、国が指定、県が管理するものである。</p> <p>以前から鹿野田坂の下地区の方から話があったので、砂防指定地について、昨年度7月に西都土木事務所に確認して、市独自のマップ等を作成した。安全性については、市が指定したわけではないので、判断できない。</p> <p><市長></p> <p>④救急搬送は、救急車が2台から3台に増やして、大学のドクターヘリの活用も増やしている。</p>	<p>★危機管理課</p> <p>③砂防指定地の危険性について、市では判断いたしかねますので、国・県に問い合わせさせていただきますようお願いいたします。</p> <p>★地域医療対策室</p> <p>④会場での回答のとおり。</p>
<p>新規就農支援があるが、後継者（親元就農）の支援がないのではないかと？ 外からの就農者よりも、地元の後継者に手厚い支援をすべきではないか？</p> <p>農業者がだんだん減ると、農地が荒廃し、「たんど（用排水路の管理）」ができなくなり、合併浄化槽が流れない状況がやってくると思う。そのためにも農業者の支援策をお願いしたい。</p>	<p><市長></p> <p>全く支援していないわけではない。機械購入等に補助金がある。</p> <p>親元就農への支援を令和7年度から考えているが、まずは、やる気のある農業者をしっかりと支援していきたい。</p> <p><農林課長></p> <p>「たんど」が管理できなくなる点については、各地区で多面的機能支払交付金を活用してもらっている。人手不足による事務面の支援のため、広域協定を結んで支援している。いかにして、農業者が減る</p>	<p>★農林課</p> <p>用排水路の管理は、「たんど」等により地域の農業者で適切に行われており、また、多くの地域では多面的機能支払交付金や中山間地域等直接支払交付金の活用により水路・農道の管理活動及び農道・水路の補修にも取り組んでいただいております。</p> <p>多面的機能支払交付金に取り組む地域に事務を担う人材不足という大きな問題がありましたので、その解決策として市全域をカバーする広域組織を令和5年度に設立したところであります。</p> <p>しかしながら、農業者の減少が進んでいく中で</p>

	<p>なかで、どう農業排水路、農業施設を管理するのは今後の農林課の課題と考えている。</p>	<p>は集落機能の維持や活動組織の存続が困難になる時が来ますので、それを見据えた水路・農道及び農地を維持管理するための方策を見出すことが今後の課題であると考えております。</p>
<p>オータムフェスタと都於郡城址まつりについて</p> <p>①なぜ同日にするのか？ 一緒に実施するのはどうかと思う。</p> <p>②オータムフェスタの内容について大人のイベントのはずが子ども中心になっていないか？</p> <p>③オータムフェスタが観光協会から足りない分が追加でお金が出たのであれば、都於郡城址祭りも観光協会から予算をもらうことはできるのか？</p> <p>④オータムフェスタはコロナ関係予算で実施して、無くなる予定のイベントと聞いていたが、なぜ継続することになったのか？ やってはいけないというわけではない。例えば、古墳まつりとコラボしてはどうか？ 都於郡城址祭りと同日開催は解せない</p> <p>⑤予算規模的に全然違う。観光協会なら融通が利くのであれば、以前のように観光協会からお金を出してもらった方が勝手良いのではないかと思う。</p>	<p><商工観光課></p> <p>①同日開催については、ずらしてもらえないか観光協会にお願いしているが、コスモスの時期を考えると、どうしても日程が重なってしまう、観光協会の若手がやることから、どうしてもその時期になると聞いている。</p> <p>ただ、実行委員会が観光協会になり、観光協会が主催する事業になるため、市から変更等は強制的に言えない。</p> <p>以前は、産業祭りと三財へそ祭りとかぶっていたこともあり、都於郡城址まつりとかぶっていけないと理由にはならない、との意見もある。</p> <p>②昼間の集客のためにアンパンマンを呼んでいるが、都於郡との客層がかぶっていない、同日開催により、客は増えているのではないかとの意見がある。</p> <p>③観光協会の剰余金からの支出があった、協賛を募ったが目標額に足りなかったために足りない分をやむを得ず支出したと聞いている。</p> <p>④コロナ明けて今年も開催することになるが、今回からは自立開催を目標するようお願いしており、今年に入場料を検討していると聞いている。若い人が頑張っているのも、市としては応援していきたい。花火大会としても定着しており、集客が大きいのでご理解いただきたい。</p> <p>⑤観光協会からの支出の原資については、このはな</p>	<p>★商工観光課</p> <p>市として、市内イベントの調整等は必要と考えますが、観光担当課としては、本市の観光資源である西都原の最盛期を活かしたイベント開催の必要性も感じているところです。</p> <p>オータムフェスタについては、西都市観光協会が、西都市観光協会補助金を活用して実施する観光誘致・宣伝を目的とした自主事業の一環として計画されています。</p> <p>観光協会補助金については、観光事業の振興及び本市の活性化等を図るため、観光協会の運営及び観光協会が行う事業に対して補助を行うものであり、当該イベントについては、当該補助金の活用により、観光協会を中心として開催されているイベントです。内容等の調整については、観光協会との協議が必要であると考えます。</p>

	<p>館の利益になっており、観光協会の理事会で判断したものなので、観光協会に話をしてもらいたい。市としては関与できるものではない。</p>	
<p>地域の皆で盛り上げようと都於郡城址祭りを作っているなかで、オータムフェスタが同日開催されることが良いことだと思うか？昔からある、西都市の祭りである都於郡城址祭りをより大事にしてもらいたい。同日開催しても客は増えるとは思えない。</p> <p>協賛を募ったがお金が足りないから補填があったとのことだが、自分たちの責任だと思う。限られた予算のなかで実行するのが当然だと思う。私たちは、募った協賛で、予算内で祭りを盛り上げようとやっている。</p> <p>昔からの祭りだから、日にちなど考えてもらい、大事にしてもらいたい。何でもかんでもやれば人はくるかもしれないが、全体的にはマイナスだと思う。</p>		<p>★商工観光課 上記の回答のとおり。</p>
<p>中学校再編となり、中学校が地元からなくなるのは寂しいがやむを得ないものとするが、学校用地の利活用が重要になるのではないか。そこで、都於郡地区は宮崎市に近く利便性が良いので、都於郡中学校跡地を住宅団地として整備して、宮崎市の子育て世帯を呼び込むことはできないか？</p> <p>現在、トラックの運行も多いので、ここに住宅団地ができればコンビニもできるのではないかと考えている。都於郡を住宅団地の核として考えていただけないか。</p>	<p><市長> 個人の考えだが、都於郡は利便性等を考えると住宅地としては良いと思っている。跡地の住宅整備については、民間か市でやるかは検討する必要がある。跡地の活用方法については、住宅地活用も含めて検討していきたい、</p>	<p>★教育政策課 令和8年度の中学校再編により、各地区の中学校は閉校となります。その跡地については、地元の方の意見を伺いながら有効活用ができるよう、今後、協議・検討してまいります。</p>

<p>①若手未来人材育成と言われていたが、リーダー塾は何人が参加して、現在はどのような状況なのか？ 若い人、1人でも多くの人に市政に関心を持ってもらいたい。そのために、色々なキッカケづくりをして関心をもってもらうことが課題だと思う。</p> <p>②都於郡小学校の放課後児童クラブで移動図書館車が来てくれる。子ども達は毎日読書の時間があるが、2ヶ月に1回、1人1冊しか借りられない。</p> <p>もっと本の数を増やしてほしい、1ヶ月に1回にしてもらえないか？と現場の人に言ったが、「職員の人手不足、購入予算を減らされた」との話があった。子ども達のことなので、ぜひ検討してもらいたい。</p>	<p><市長></p> <p>①リーダー塾は当初15名だった。内容が良く、残られた10数名からは評判が良かったが、その後の申込者が少なく続かなかったので休止状態。現在は、KOKOKARAで人材育成をやっている。</p> <p><社会教育課長></p> <p>②移動図書館車は去年7月から運行開始。図書館職員7人（職員4名、会計年度任用職員3名）は、シフト制である。そのなかで移動図書館車のために職員2名（司書、運転手）が配置、運行している。人員が増えれば回数がふえる。1人1冊というのは増やすことができないか検討したい。</p> <p>書籍購入予算については、昨年度同様であり、減っていない。さらに香典返しでも書籍を購入している。</p> <p>また、移動図書館車は1000冊載せることができるため、1人1冊しか借りられないというのは確認させていただき、できるだけ多くの人に借りられるようにしたい。</p>	<p>★総合政策課</p> <p>①若手の未来人材育成を目指し、自己啓発と社会貢献の精神を育むために、「さいと未来リーダー塾」を令和3年11月から令和5年3月まで開講しました。このプログラムを通じて、参加者はリーダーとしての資質向上を図るとともに、社会に対する貢献の意識を深めることができ、自己の成長と市政への関心を高めるための有効な契機になったと考えております。</p> <p>★社会教育課</p> <p>移動図書館車は去年7月から運行開始しております。図書館職員7人（職員4名、会計年度任用職員3名）は、シフト制で、そのうち移動図書館車のために職員2名（司書、運転手）を配置し、運行しております。そのため現職員体制で運行回数を増やすのは厳しい状況にあります。</p> <p>移動図書館車での貸出冊数については、市立図書館同様、個人利用者は10冊・貸出期間2週間、施設等の団体貸出は原則30冊・貸出期間2ヶ月以内となっております。今回のケースは移動図書館車利用時、返却等を団体で管理するということで団体貸出を行っており、全体で30冊という枠があったため1人1冊という誤解が生じたと思われます。</p> <p>また、書籍購入予算については、昨年度と同様であり、減額にはなっておりません。さらに香典返しによる寄付を募りまして書籍を購入させていただいております。</p>
--	---	---

◎三財地区 6月7日(金) 19:00~20:13 出席者 42名

質問内容(概要)	会場での回答	市の回答
<p>最近、市議会に興味がある</p> <p>①5月1日臨時会のL I V E配信がまだ更新されていないので、早めに更新してほしい。</p> <p>②市役所のモニターがあるが、議会の様子をリアルタイムで流してもらおうと市民が目を向けるようになって興味を持つのではないか?</p> <p>③委員会は議員と担当者のやりとりがあり、密な話し合いがされている。本会議だけでなく、委員会の様子も配信してもらえると市民が興味を持つのではないか?</p> <p>以前に市に対して要望した件について放置されたままではないかと思っている。</p> <p>④高取山の展望台について、現在使用できないが、ネットにはいまだに「西都原古墳群を一望」とあり、訪問客がガッカリするのではないかと以前に指摘したがどうなったか?</p> <p>⑤市役所内に車椅子があるが、乗ることに「抵抗がある」方もいるので、シルバーカーを置いてもらうことはできないか?</p> <p>L I N Eだと「検討します」と返答があるが、「できる」「できない」をはっきり言ってもらえると要望しても待たなくていい。</p>	<p><総務課長></p> <p>①・③配信については、議会事務局につながせていただく</p> <p><商工観光課長></p> <p>④高取山の展望台は県の所有だが、ぐらぐらしており危険であるため、県と市の判断で上れないようにしている。ネットの修正は早めにする。</p> <p><財政課長></p> <p>③L I V E配信については、議会とどこまで流せるか話して、可能ということであれば、3連モニターで流していきたい。</p> <p>⑤庁内でのシルバーカー利用については、どのようなものか確認して検討したい。</p> <p><市長></p> <p>要望については、できるだけ早く回答してお待たせないようにしたい。</p>	<p>★議会事務局</p> <p>①本会議映像が視聴できるよう対応いたしました。</p> <p>③新庁舎建設時に市民に関心を持っていただけるよう、委員会については傍聴できるように会議規則を原則公開に改正したところではありますが、委員会のライブ配信は、本庁舎の設備を改装する必要がある、現在のところ対応策を講じることは考えておりません。</p> <p>★商工観光課</p> <p>④会場での回答のとおり。</p> <p>★財政課</p> <p>②議会のライブ配信(本会議)についてではありますが、正面入口の3連モニターについては配線上の工事が必要となるため、1階フロアにテレビモニターを設置して来庁者が視聴できるようにいたします。</p> <p>ただし委員会については、各室にカメラ等も整備されていないことから配信は難しいと考えております。</p> <p>⑤庁内で使用するシルバーカーの設置についてではありますが、シルバーカーはメーカーによってブレーキ等の操作方法が異なりますので、利用者が使い慣れておらず転倒してしまうというリスクを</p>

		<p>排除するためにも設置は見送りたいと考えております。そのため歩行等が困難な方に対しましては、これまでどおり車イスの利用をお願いしたいと考えております。</p> <p>ただし、車イスの利用に抵抗がある方は、総合案内窓口にて要件を伝えていただければ、担当職員を呼んで各種手続き等が可能となるよう対応いたします。</p>
<p>空き家が多いが、個人のものであるため、地元でも市の方でもどうにもできない。今年は、ハクビシンが多くて、スイートコーンの被害（獣害）が多かった。個人の所有物かもしれないが、市の方でも対応を考えてもらえないか？</p>	<p><市長></p> <p>担当課がないので詳しい回答はできないが、空き家の場所を教えてもらえれば担当者が現地を確認したいと思います。</p>	<p>★生活環境課</p> <p>6月12日に藤田公民館長の立ち合いの下、担当者が現地を確認しました。その後、管理者を調査し、特定の上、適正な管理について6月20日付けで文書にて依頼しました。</p> <p>★農林課</p> <p>空き家が鳥獣の住み処になっている場合には、空き家所有者の許可が得られれば箱罟を設置することもできますので、生活環境課と連携し対応してまいります。</p> <p>また、鳥獣害被害防止対策としてほ場周辺に電気柵等を設置することで被害軽減を図れますので、農林課までご相談ください。</p>
<p>2年ほど前に、行政区の番号が変わったが、いまだに地元の方は昔の番号で呼んでいる。消防団の番号と合わなくなったので、どちらかに合わせてもらえないか？</p> <p>岩崎の辺りは、消防団が7分団8部だが、行政区は三財2区になっている。</p>	<p><総務課長></p> <p>行政区を元に戻すのは難しい。行政区の区分（範囲）と消防団の部の区分（範囲）と一致していないため、合わせるの難しいと考えるが、ご意見を消防に伝えることとする。</p>	<p>★総務課</p> <p>令和2年に行政区の区割りの変更が行われた際に、行政区をこれまでの通し番号から地区ごとに番号を付したところであります。</p> <p>ご意見のとおり、行政区の番号と消防団の部の番号が一致することは地域の皆様にとっては分かりやすく、利便性が良くなるものと思われませんが、行政区の範囲と消防団の担当区域が異なるため、</p>

		同じ番号に統一することは困難であると考えます。ご理解いただきますようお願いいたします。
--	--	---